

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場総務課
(〒949-75 ☎0258(代)89-3111)

警察官(大卒) 受験案内

●受験資格

昭和四十年四月二日から昭和四十六年四月一日までに生れた男子で、学校教育法による大学(短大除く)を卒業した者又は平成五年三月三十一日までに卒業見込みの者

●受付期間

五月十一日(月)から七月三日(金)午後五時まで

●試験の日時・場所

第一次試験 七月十九日(日)
第二次試験 第一次試験合格通知で指定する日

●申し込み先

小千谷警察署又は近くの派出所・駐在所へ

新規学卒者

「求人受理説明会」

来春の新規学校卒業者を対象とする求人受理説明会を次のとおり開催します。

地元で優秀な人材を確保するためにも早期採用計画及び求人申し込みをお願いします。

なお、求人受付開始は、

大学・短大・専修学校等は六月一日から、中学・高校等は六月二十日からとなります。

●小千谷地区(小千谷市・川口町)

日時 六月十一日(休)

午後一時三十分から

場所 小千谷市総合産業会館(サンプラザ)

●小出地区(川口町を除く北魚沼郡)

日時 六月十日(休)

午後一時三十分から

場所 小出郷福祉センター ※詳しいことは、ハローワーク(職業安定所)学卒係まで。

ハローワーク小千谷 ☎八二二二四四一

ハローワーク小出 ☎〇三九二一〇二一八

精神薄弱者更生施設

「やいの里」

入所のお知らせ

精神薄弱者更生施設「やいの里(仮称)・小出町」が開設されます。家族の方等で入所を希望される方は次により申し込みください。

◆入所予定人員

五十名(男三十名・女二十名)

◆入所予定日

平成五年四月一日

◆入所対象者

十五歳以上の精神薄弱者で生活上、保護と指導を必要とする方、原則として、在宅者を優先させていただきます。

◆入所に伴う費用

本人の収入、家族の課税状況等により決定されます。

◆申し込み締切り

平成四年七月八日

◆申し込み先

川口町役場社会福祉課 ☎八九一三一

児童手当・父子手当

受給者の皆さんへ

六ヶ月支払日は

六月十日です

児童手当、父子手当は毎年二月・六月・十月の三回に分けて、それぞれの月の前月分までの四か月分をまとめて支払います。(年度途中の認定者はそれぞれの月数分)六ヶ月支払分をあなたの指定金融機関口座に振り込みます。なお、個人の支払通知は、これをもってかえさせていただきます。

菊づくり講習会

初心者歓迎!!

日時 六月七日(日)

午後一時三十分～

場所 総合福祉センター

なお、終了次第希望者に菊の苗をお分けします。

主催 川口町菊花会

詩吟大会

日時 六月十四日(日)

午前十時三十分～

場所 末広荘

町内の愛好者並びに長岡方面の同好者六十名程で開催します。お気軽にお出かけください。

主催 川口町詩吟同好会



信濃川水防総合演習

5月26日 小千谷市高梨地先で

関連記事は5ページに掲載

| | | |
|-----|--------|-------------|
| 人口 | 6,383人 | 平成4年5月20日現在 |
| 男 | 3,132人 | |
| 女 | 3,251人 | |
| 世帯数 | 1,519戸 | |

| | | | |
|-----------------|-----|-----------------|-------|
| 高齢者に潤いと活力を..... | 2~4 | 学校週五日制の導入..... | 8 |
| 信濃川水防演習..... | 5 | 川口中で田植え..... | 9 |
| みんなのコーナー..... | 6 | 下水道工事にご協力を..... | 10 |
| 柔道少年団が活躍!!..... | 7 | お知らせコーナー..... | 11~12 |

おもな内容



高齢者生産活動センター

グリーンアスパラガスの集出荷作業に精をだす!!

高齢者に
潤いと
活力を

今年から共同選別

始まる

町の主要作物グリーンアスパラガス/今年からアスパラの共同選別による出荷が始まり、「高齢者生産活動センター」では今、お年寄りの人たちによって、その集出荷作業が進められていく。集荷・選別・そして梱包・発送などの作業をお年よりの人たちが受け持ち生産農家から集荷したアスパラの選別に余念がない。共同選別による出荷は、生産農家の省力化につながり、

就業機会の拡大と農業の活性化

同センターは、高齢者の就業機会の拡大を図り、農産物や町特産品の集出荷場としてまた、お年よりの豊かな知識

あなたも参加してみませんか
一百人を目標に

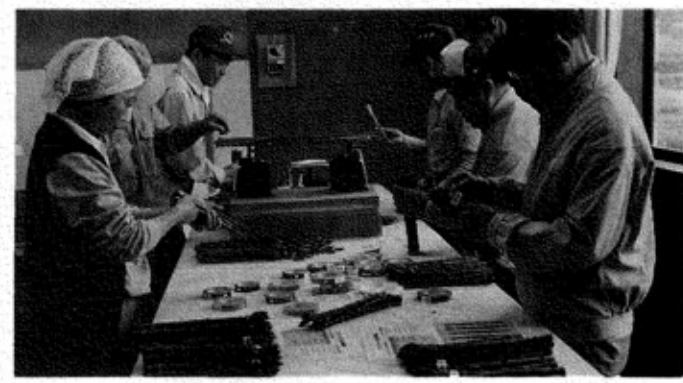
経験を生かしたワラ細工や民芸品づくりの加工工場として昨年十二月完成したもので、高齢者の就業の場、生きがい対策、そして、地域農業の振興など、お年寄りの潤いと活力に向けた取り組みと、地域農業の活性化を狙いに大きな期待が寄せられている。



希望者は、就労希望票に、希望する職種、就労できる時期(一年中・春・夏・冬)、時間(一日中・午前・午後)などを記入して申し込み登録される。自分が就労可能な範囲で選択し、自宅での就労も可能で、気軽に参加できる。なお、電話でも申し込み可能(高齢者生産活動センター 089-121-9111) 市場に向けて 順調に出荷 アスパラの収穫期は五月か

十段階に選別

作業は、朝八時から各地区を回り、その日収穫されたアスパラをセンターに集荷。収穫は、各生産農家が行い、地



更に、5段階に選別されたものを、それぞれA・Bランクに調整、一束150gに計量を行い、テープで結束。



合わせて10段階に選別されたアスパラをもう一度点検。

品ぞろいが良く高い評価

作業も和気合々に……

お年寄りの人たちが一生懸命選別、共選されたアスパラは、出荷規格に基づいて厳選され、個選より品ぞろいが良く、関係方面から高く評価されている。作業も和気合々に進められ、毎日楽しく張り切って、お年寄りの人たちは作

業にあたっている。「みんないい人で愉快地楽しく仕事ができ大変うれしいです」と、小林政吉さん(七十九才)。また、佐藤富一郎さん(六十九才)は、「自分もアスパラを七年前から始め、おばあさんと二人でやっています。今年から共選になって助かります」と、作業に熱が入る。そして、センター長の山田英夫さんは、この施設が、年寄りの人たちから喜ばれて、小づかい稼ぎにもなり、仕事をしながら健



自動選別機で五段階(2L・L・A・L・M・S)に選別。

段階に分けられる。そして分けられたアスパラ一本一本について、きず物や曲り、穂先などを目で確かめ、品質、形状、色沢の良好なもの、穂先



の開かないものごとに、さらにA・Bランクに分け、あわせて十段階に選別される。これを一束一五〇gに計量、結束され箱詰めされる。こうして共選されたアスパラは、首都圏などに向けて出荷される。

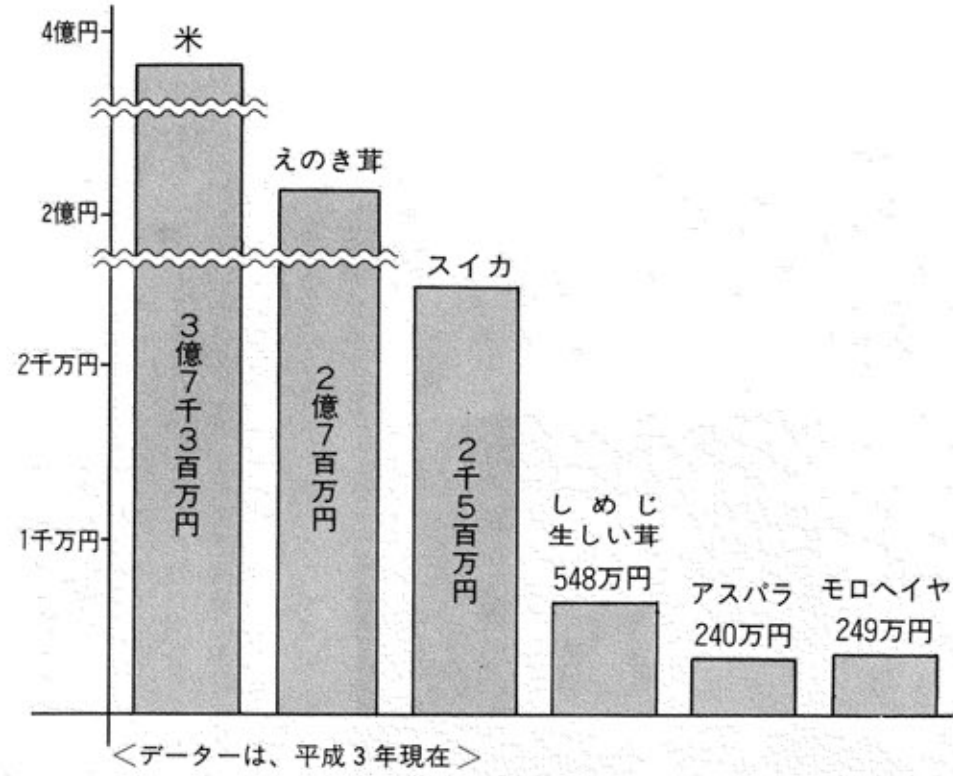


▲「愉快地楽しく仕事できてうれしいです」と新潟日報小千谷支局長さんのインタビューに答える小林政吉さん(79歳) 5月14日センターで

康で生き生きと、そして、作
業を通して互いのコミュニケ
ーションを図りながら、お年
寄りの経験や知識を生かして、
地域起こしにつながればと、
顔をほころばせ、自分のかっ
ての営農指導員の経験を生か
して、生産者とセンターを結
んだ農業活性化に意欲を燃や
していた。

おとし寄りの 労働力と 規模拡大

現在、アスパラの生産農家
は三十五戸、栽培面積約三・
五ha、生産高は約三・三(平
成三年現在)と、小規模なが
ら、お年寄りの労働力と結ん



だ共同選別によって、人手不
足が解消され、生産農家の栽
培に対する意欲、規模拡大に
つながればと、町では期待し
ている。ちなみに、町の主要
作物の出荷額は次の通り(円)。
反収では、基幹作物の「米」
では十七万円。「モロヘイヤ」
は六十万円、「アスパラ」は三
十万円、「スイカ」は六十万円
と高収穫を上げており、各方
面へ出荷されている。また、
町特産物のエノキは、二億円

「モロヘイヤ」 しめ縄づくりなど

センターでは、このアスパ
ラの共同選別に続き、町特産
品のモロヘイヤの集出荷をは
じめ、白倉しめ縄生産組合(川
西町)とタイアップして、し
め縄作りに取り組む。既に、
しめ縄の原料となる「みとら
ず」作付が行われ、その準備
に追われている。また、趣味



▲「しめ縄講習会」
白倉しめ縄生産組合長さんを講師に
5月27日、田麦山生活改善センターで



や実益を兼ねた「年賀状」書
きなども計画されるなど、お
年寄りの人たちの活動を積極
的に進めることとしている。
この施設が、お年寄りの人
たちに喜ばれ、生産者からも
喜ばれることを目指して、お
年寄りの人たちの生きがい対
策と、生産規模の拡大につな
がることを期待すると共に、
皆さんで温く見守って育てて
いく必要がある。



▲5月26日 信濃川水防演習 総勢約3,000人が参加

信濃川水防演習 町消防団が活躍!!

「木流し工」と 「積み土のう工」を実演

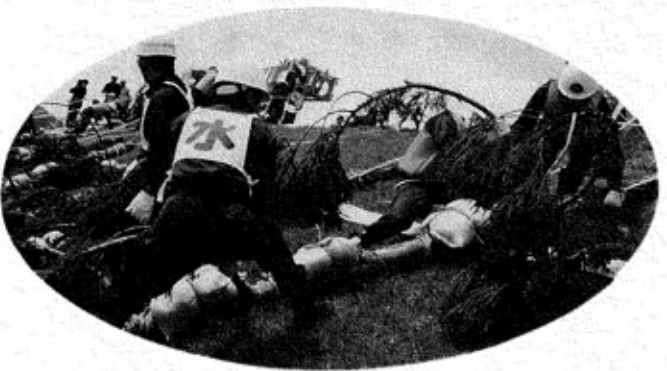
沿線市町村から 消防団 千三百人が参加

演習には、信濃川沿川の十
七市町村の消防団約千三百人
が参加して、信濃川の被害を
想定した木流し工、積み土の
う工、月の輪工などの十一の
水防工法が、実践さながらに
演じられた。

五月二十六日、陸上自衛隊、
航空自衛隊、県警察本部の飛
行機やヘリコプターなどが参
加して、大がかりな水防演習
が小千谷市の高梨地先下流信
濃川左岸で実施された。
これは、出水期を前に、水
防機関の士気高揚と水防技術
の強化を図り、水防の重要性
の認識を高めようと、建設省
北陸地方建設局などが主催し
て、毎年行われているもので
今年も新潟県が会場となった
もの。



▲「木流し工」



しい流れなどで堤防がえぐら
れた時に行われる。特に、土
のうを木に結ぶ、結び方に技
術がある。

また、積み土のう工は、水
防工法の中で最も基本となる
重要な工法で、増水により、
堤防を超える恐れのある時や
堤防の表層が崩れる場合に行
われる。これも、鉄パイプ、
シートを杭にしぼる、しぼり
方や、土のうの積み方に技術
がある。
参加した団員たちは、この
結び方、しぼり方などを一生
懸命練習して訓練に臨み、本
番では立派にその役目を果し
た。
団員の皆さん大変ご苦労様
でした。



▲「積み土のう工」



みんなのコーナー

かわぐち俳壇

— 老人クラブ俳句教室の作家たち —

山本山昨日も今日も臆かな
病む妻の爪切る窓辺春うらら
丸山以外史
内山松月

× × ×
足下で刻の鐘鳴る屋根を葺く
風の所為に出来ず屋根替煤わびに
喜多村 曉
同 喜多村イマ
同 上村たつお
同 野田
同 平沢静雲
同 平沢かおる
同 東部
同 関 よし
同 三輪京子
同 喜多村キヨ
同 星野一夢
同 星野一夢
同 星野一夢
同 内藤一峯
同 大野若葉
同 山田久子
西川口

一人咲き一人散りゆく山桜
塾の児を待ちつつ桜ながめをり
西川口
山田久子
山田マス
同 山田チヨ
同 小宮山ミチ
同 小宮山トキ
同 関 睦美
同 関 紫苑
同 星野雪車
同 星野七朗
同 星野紗都女
同 小西シゲノ
同 星野しゆ
同 宮 ヨキ
同 宮 ミヨ
同 丸山静流
同 新宮山柴
同 星野修庭史

× × ×
吾が郷を一望にして山笑ふ
雪解川テトラボットを洗い行く
旅衣着替えし窓の紅椿
水芭蕉窓より見えて旅の宿
老の日々あれこれまじめ日脚伸ぶ
もの芽のつ一つ一つにある光り
花蛇の花粉まみれのうしろあし
職人にかかはりもなし労働祭
花の下それぞれの実業しげに
たびの子に招かれて行く花日和
拾ひ来てまた捨てに行く子猫かな
学校をよく見える道つくしんぼ
雨勝の見頃となり櫻かな
チューリップごこの庭にも咲き競へ
木に掛けし野良着の下で蓬摘む
春雨を朝寝して聞く佗び住ひ
かたくりの花の絨緞敷きつめし
老忘れ山菜取りに朝早く
露のたう残雪あれど花盛り
木の芽摘む山鳩の声ききながら
新緑の細き山道好きかな道
瓦屋根つづく街並鯉幟
× × ×
琵琶の湖春の霞に沈みをり
嵐山土手長々と花の幕
天主閣遠くに見えて花の雨



柔道少年団が活躍!!

中越少年柔道大会三位 中越柔道大会準優勝

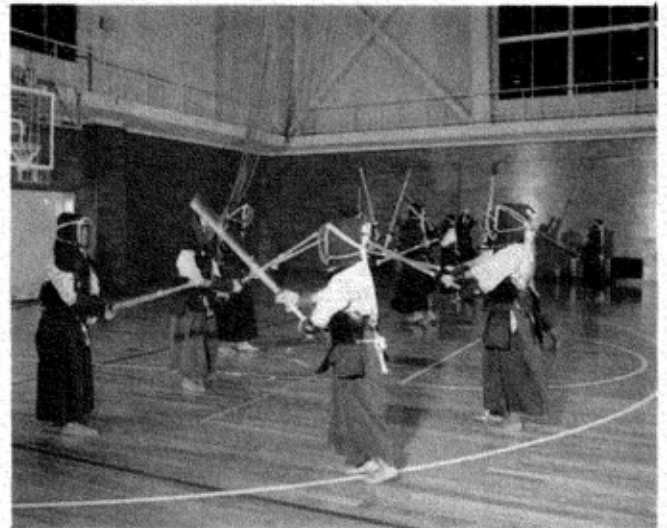
スポーツ少年団川口柔道会 会は、与板町民体育館に四
が春の大会で大活躍、大きな 百人の選手を集めて開かれ、
大会でも常に上位にくい込む 小学低学年の部に出場した川
実力を身につけたようです。 ロチームは、二十二チームの
第十三回中越小学生柔道大 中で出雲崎、見附をくだして



▲活躍した少年柔道チーム
写真左から
小野塚純一（4年・野田） 北村大二郎（4年・中山）
覚張 雄太（4年・野田） 小林 嘉人（3年・八郎場）
喜多村慶介（3年・川口5） 小山 大輔（4年・川口1）

書道で 県展に入選
内山松月さん
第四十七回の県展に内山松
月（川口六・本名伊勢松）さ
んの書道作品が入選となりま
した。
県展は、県内最大の展覧会
で水準が高く、絵画や書道、
工芸など七部門からなってお
り、新潟日報社や県教育委員
会などが主催。内山さんは、
今回で県展入選十一回の常連
です。

スポーツ少年団に感謝状 青少年健全育成で貢献



川口町スポーツ少年団に、
このほど小千谷地区防犯協会
連合会長と小千谷警察署長か
ら、連名の感謝状が贈られま
した。
長年にわたるスポーツ指導
が、地域の青少年健全育成に
大きな貢献があったと、その
業績が認められたものです。
川口町スポーツ少年団は、
少年野球五チーム、少年柔道
少年剣道、少年卓球、ジュニ
アスキーによる九チームで組
織され、二百十人の団員が各
シーズン練習に励み、大会等
で好成績をあげています。

喜多村 曉さんは長い句歴を
もつ作家であり、和南津に戦
前から盛んだった十六夜会の
メンバーである。旧家の喜多
村家には江戸期からの句会の
記録や文献が沢山あったこと
から、源は遠い吟社である。
現在十六夜会は、上村たつ
おさん、覚張秋晴さん、次郎
さん、丸山トシさんその他が参
加して、毎月、会の名の通り
十六日の夜に集まって句会を
やっているとのこと。
晩さんの職業は今日では珍
らしくなった屋根葺である。
主として神社仏閣の萱屋根の
美しさを維持する大事な仕事
である。俳句では屋根替えは
春の季節になつている。雪い
たみの関係で、主として春に
行われたからであると思う。
自分の仕事を俳句に詠むこ
とはむずかしいかも知れない
が、晩さんは沢山屋根葺の句
を寄せてくれました。
十六夜会のメンバーではあ
りませんが、和南津の喜多村
イマさんの「一望に見ゆる」
の句まことによろしいと思
いました。又小宮山トキさんの
山笑ふの句も素晴らしいと思
います。並べて鑑賞して下さい。(修)

学校週五日制の導入

個性や創造性を伸ばす教育が狙い

平成四年九月実施

今年の二学期から「学校週五日制」が実施され、月一回、第二土曜日が休みになります。明治以来、一世紀以上にわたって続いていた週六日制にピリオドを打つことになりました。この制度は、学校や家庭、地域での教育のあり方を見直しながら、これからの時代を担う子どもたちの望ましい人間性を育てようという目的があります。

学校は月曜日から土曜日まで通うもの——いま、この当然のよきな制度が変わろうとしています。月一回の学校週五日制が実施される学校は、全国の公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、盲・ろう養護学校です。



また、私立の学校にもできるだけ歩調をあわせるよう協力が求められています。では、なぜ土曜日を休みにするのでしょうか。社会全体が多様化し、大きく変化するなかで、自ら考え、判断し、行動できる資質や能力を

育てることを重視する教育が求められています。今回実施される「学校週五日制」には、子どもたちが家庭や地域社会での生活時間を使って、違う年齢の仲間との遊び、自然体験、社会体験、生活体験などを増やすことで、このような資質や能力を根づかせるという意図がこめられています。すなわち、共通した知識や技能を身につけることを重視したままでの教育から、個性や創造性を育てることを重視する教育を目指そうという狙いがあります。

実施に向けての「影響と対策」

文部省では、この制度の実施に向けて、二年前から全国六十八校をモデル校にして、「研究」をしてきました。その結果から、制度の実施による家庭、学校、地域への「影響と対策」は次のとおりです。

家庭では

子どもが親と一緒に過ごすなかで、生き方や生活の知恵を学ぶようにすることが大切です。しかし、共働きの家庭の子どもや障害のある子どもへの配慮も忘れてはなりません。例えば、子どもは学校が休みだけれども、親が働いているため午前中は子ども一人になってしまします。

そのため、幼稚園や小学校、盲・ろう養護学校では、当面の間、休みとなる土曜日にも、学校を開放するように呼びかけ、家庭での負担を少なくするようにしています。

学校では

いままで六日間で学習していたことを五日間で学ぶことは、かえって子どもに負担がかかるのではないかと問題があります。

これに対して学校では、授業のカリキュラム編成や指導方法を工夫するようにしています。

地域では

休みになっても、何をすればよいか分からない、あるいは、



活動の場所がない。これでは意味がありません。そのため、学校にある施設の開放や公共施設の整備・充実を進めること、そして、大人のサポートが必要となってきます。例えば、周りの大人がいろいろなプログラムを考え、そのなかから、子どもの自主性にまかせ、責任をもって取り組ませるというようなことです。

社会全体で

子どもたちを見守ろう

今後、学校週五日制の定着を図っていくうえで、学校、家庭、地域社会がいままで以上に連携を深め、一体となって問題の解決に取り組む必要があります。休日が増えることによって、子どもたちの生活が活気あるものになるように、社会全体で見守り、対策を考えていきましょう。

田植え

川口中

田植え時期を迎えた、去る五月十四日、川口中で学校田の田植えが行われた。

この日、三年生女子生徒全員が参加して、五アールの田んぼにコシヒカリの苗を植えた。機械化によって、手植えによる田植えが見られなくなったこの頃、殆んど生徒が初めての田植え体験で、田んぼの中に足を入れるにも、おっかなびっくり。泥に足をとられて尻もちをつく生徒もあり、慣れない手つきで、一生懸命田植えをし、いい汗をかいていた。

川口中では、米づくりを通して労働や農業について学ぼうと、田打ちから収穫まで全校生徒全員が作業を分担して、毎年行っているもので、三年生男子は田打ち、代かき、稲刈り。田植えは同女子、二年生はハザ架け、そして、一年生は草刈りを分担し、秋の収穫には全員で収穫祭を楽しみます。



5アールの田んぼにコシヒカリの苗を植える3年生女子の皆さん。先生も一緒に頑張る!!

カメラキャッチ

- 6/1~6/7 (中学生期)
 - 中学生の反抗期
- 6/8~6/14 (幼児期)
 - 親と子の信頼感

子育て テレホンサービス

☎ 89-4363

- 6/15~6/21 (小学生期)
 - ものを大切にする。
- 6/22~6/28 (中学生期)
 - 社会規範について

～夜間でも、休みの日でも、すきなときにダイヤル～



下水道工事にご協力を

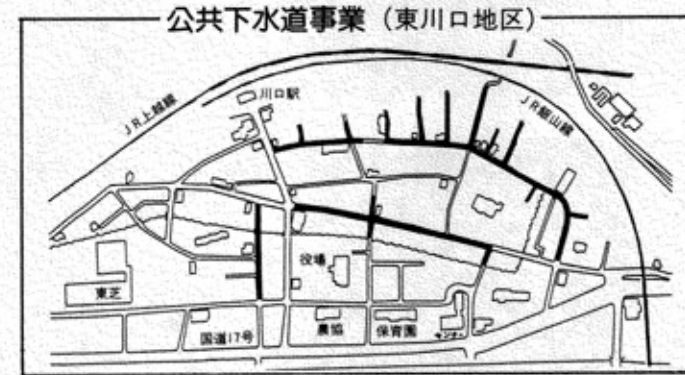
公共下水道整備は平成元年度に、田麦山地区集落排水事業(下水道)は平成三年度に工事が着工され、それぞれ平成八年春から使用できるよう計画的に進めております。

今年度予定されている工事は、下図のとおりです。

工事期間中は、交通止や片側交互通行など、皆さんには多大なご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

※ 工事現場を通行するときは、十分ご注意ください。

また、自動車などで通行するときは、交通規制の案内板に従って安全運転をお願いします。



暮らしのポイント

日本料理のおいしいさの一つは、「コンブを使ったダシ」にあります。しかし、間違えたダシのとり方をすると、うま味が出ません。

コンブの味は、表面についている白い粉が決め手。カビのように見えませんが、「マンニト」という成分で、コンブの大切なうま味です。マンニトをカビと見間違えて洗い流したり、こすり落としたりすると、うま味を逃がしてしまいます。

コンブのダシのとり方

沸騰する前に取り出す

ダシをとるために、コンブは毎日のようによく使います。ですから、コンブを買ってきたら前もって手ごろな大きさに切っておくと、使い勝手がよく便利です。切ったコンブは「コービー」などの空き瓶に保存しておくようにしましょう。



さて、ダシをとるときに気をつけたいのが、コンブの量です。目安としては、喫茶店などで見かけるマツチ箱の大きさが、おわん一杯分に相当します。そのつど、人数に合わせて取り出して使っていくのが良いでしょう。

ダシをとった後のコンブは、ごみとして捨てないようになさってください。ポリ袋に入れて、冷凍庫で保存しておきます。あつ煮にするとおいしいです。

年金

任意加入で年金権の確保を

六十四歳までは国民年金に加入できます

国民年金制度は、二十歳から加入して六十歳まで保険料を納め、六十五歳から老齢基礎年金を受ける仕組みになっています。

しかし、中には、六十歳になっても老齢基礎年金を受けないために、年金を受けない方もおられます。そこで、年金の受給に結びつけるために、六十五歳になるまでの間、希望して加入することができます。

例えば、六十歳になった時点で二十四年しか保険料納付期間がない場合、一年間保険料を納めることにより、年金の受給資格を得ることになります。

また、老齢基礎年金は、二



十歳から六十歳までの四十年間すべて保険料を納めた場合に、満額の年金が受けられます。ですから、過去に未納期間や免除期間などがある方もより満額に近い年金を受けるため、任意に加入することができます。

任意加入者の保険料額は一般の人達と同額です。受給権の確保と満額年金の実現のために、ぜひ任意加入することをお勧めします。

あなたの納めた保険料が地域の暮らしを豊かにしています

皆さんが納めている厚生年金・国民年金の保険料は、将来年金を支払うための財源として、国が責任をもって管理し、積み立てられています。

土砂災害防止月間

長雨の降りやすい6月

木の裂ける音など……前ぶれがあつたらすぐ避難

「驚いたことに、家からわずか30メートルほど離れた山が中腹から崩れ落ち、道路はおろか川のなかまで埋めてしまっているではありませんか。……数日後、もう一度わたしは土砂崩れの起こった現場に行ってみました。そこには、人間の力ではとても動かさそうにない大きな石が何個も落ちていました。河原にあるようなとがった石や、山の上に生えている5メートル以上もある大木までそのまま落ちているのです」……これは、昨年行われた「土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文コンクール」に寄せられた応募作品の一つです。

ここで紹介したような悲惨な土砂災害は、全国で毎年起きています。去年は特に、雲仙・普賢岳の噴火に伴う火砕流や土石流、台風19号の集中豪雨による土砂災害などにより、大きな被害が出ました。

▶雨量100ミリ以上は要注意

日本は国土の約8割が山地や丘陵地、台地ということもあり、土砂災害危険地域が全国に約16万か所もあります。自然災害のうち、土砂災害が6割以上を占めるというもうなすけず。

特に、梅雨で長雨の降る6月はこうした土砂災害の多い時期です。一般に土砂災害の発生と雨量との関係については、1時間に20ミリ以上、または、降り始めからの雨量が100ミリ以上になったら要注意といわれています。がけ地や川のそば、山がすぐ近

くに迫っているところに家がある方は気象情報に耳を傾け、土砂災害に十分注意しましょう。

また、土砂災害のそれぞれの前兆を次に挙げます。前兆を発見したら、町の防災担当課に連絡するとともに、避難の準備を始めましょう。

さまざまな土砂災害の前兆



- ・木の裂ける音やゴロゴロと石が流れる音がする。
- ・川の水が急に濁ったり、流れに流木が混ざったりする。
- ・雨が降っているのに川の水かさが増え始めた。



- ・地面にひび割れができた。
- ・地面の一部が陥没したり盛り上がりたりした。
- ・池の水かさが増えたり減ったりした。
- ・井戸の水が濁った。



- ・がけから小石などがパラパラと落ちてくる。
- ・がけに裂け目ができた。
- ・斜面の途中から突然水がわきだした。